トンネル内壁の鉄板の落下について（姫新線）

2020年11月21日、姫新線のトンネル内でトンネルのコンクリート壁を保護する鉄板が、線路脇に落ちているのを発見しました。このたびは、ご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。

今後、再発防止に向け、トンネル内の同種箇所を点検するなど、安全対策に取り組んでまいります。

1. 発見日時

2020年11月21日（土） 午前11時05分ごろ

2. 場所

姫新線 月田（ツキダ）～富原（トミハラ）駅間 篠尾（シノオ） トンネル内

3. 概要

11月21日（土） 午前7時55分頃、新見（7:18）～津山（8:53）駅着 普通列車（2両編成 ワンマン）の運転士は、トンネル内の線路脇にトタンらしきものがあるのを発見し、岡山総合指令所（津山派出）に連絡しました。その後、施設係員が現地を調査した結果、トンネルのコンクリート壁を保護する鉄板が、線路脇に落ちているのを発見しました。

4. 落下物

トンネル覆工（ふっこう）を保護するための鉄板

(1) 用途：トンネル内のコンクリート壁を保護するため設置したもの

(2) 大きさ：縦 約170センチメートル×横 約68センチメートル 厚さ：約3.2ミリメートル

(3) 重さ：約8.6キログラム

(4) トンネル内のレールの横（トンネルの北側の側面）

5. 落下した高さ

約3.2メートル

6. 列車運行への影響等

落下した鉄板と列車との接触はありませんでした。

ご乗車のお客様にお怪我等ございませんでした。（列車の遅れはありませんでした）

7. 原因

コンクリート壁にボルトで固定していた鉄板が腐食して落下したものです。

以上